

おうち練習サポートします!

第2回

楽しくおうち練習に取り組んでもらう きっかけは「自分専用のCD」

ピアノ講師：^{つつい} 躰井 ^{やえ} 野衣

子供にとって練習は「メンドくさい」もの。それを「楽しい」ものに変えていくことができれば、おうち練習もしっかりできるのではないのでしょうか。CD-2eを使ったおうち練習用CDづくり。今回はこんな事例をご紹介します。

くりかえし聴いて耳でおぼえる

小学校3年生 Tくんの場合

レッスン中、弾いている途中で「止まって」と言っても、聞こえないフリをして弾き続けてしまうTくん。おお～い、先生の言うこと聞いておくれ…。でも彼は練習が嫌いなだけで音楽は大好き。そんなTくんのために、その日のレッスン中にうまく弾けなかったフレーズだけを録音した部分練習用CDを作り、「○番を5回くらい、○番はもっとたくさん10回くらい、何度もかけて真似して弾いてみてね」と渡した。

次のレッスンでお母さんが開口一番におっしゃるには、「TにはCD練習が合っていたみたいです。普段は練習しなさいと私が言わないとピアノに向かわないのに、今週は自分からCDを何度もかけて練習してくれました」とのこと。耳の良いTくんは、きちんとフレージングやアーティキュレーションまで真似をして練習してくれていた。その日の曲はひさしぶりの花丸。やった!

目的を明確にすることで効率UP

小学校2年生 Nちゃんの場合

2歳になる妹がいるNちゃん。お母さんは妹の世話でてんてこ舞いで、なかなかNちゃんのおうち練習に付き合ってもらえないという。お母さんのサポートが上達のための重要なポイントなんだけど……。 「ここだけはママにも見てもらえるかな?」と聞くと、「最近

忙しいから……」と健気にお母さんを気づかうお姉ちゃんぶり。お母さんが付きっきりにならなくても練習ができるように、Nちゃんには片手練習用のCDを作った。CDから聴こえるもう一方のメロディーに合わせて弾けるようになったら、両手で弾くときも曲の流れや曲想をつかむのが早くなる。Nちゃんは左利きで、いつもメロディーと伴奏の弾き分けに苦労するので効果大なはず。「左手を1回やったら、右手を3回やってね」と言って渡した。

このおうち練習用CDは、Nちゃんの上達のほかに意図しないところにも効果を発揮した。練習の目的が明確になったことが忙しいお母さんにとってもよかったのだろう、CDに合わせたおうち練習に付き合ってくれるようになったのだ。Nちゃんの練習ノートには、「CDのテンポにはまだ追いつきません」というようなお母さんからのコメントが。Nちゃんと曲想について話しているときも、「ここはきっとドラネコが出てくる場面だってママと話してたの」と、熱心なおうち練習の様子がうかがえる。……結果オーライ!

CD-2eで作ったCDをレッスンに取り入れるようになってから実感したことは、生徒さんも親御さんも「自分専用のCD」をととても喜んでくれて、それをきっかけにおうち練習も楽しく取り組んでもらえるようになってきたということ。男の子は機械いじりが好きなので、いつも触っちゃダメとされているオーディオのスイッチを堂々と操作できるのもう



SD/CD レコーダー CD-2e

製品の詳細については
ローランド・ホームページをご覧ください。
<http://www.roland.co.jp/>

れしいみたい。

先日開いたクリスマス会で、生徒さんと親御さんでクリスマスソングを連弾してもらった。その演奏をCD-2eで録音しCDにして、次のレッスンのときにプレゼントしてあげた。編集も何もせず録音したままをCDに焼いただけだったけど、当日のプログラムと同じデザインのジャケットを作ってあげたら「うれしい!」ととても喜んでいただけた。みんなのうれしそうな顔を見ると、こちらもまたヤル気になるものだ。



つづく



プロフィール

躰井 野衣 (つつい やえ)

国立音楽大学ピアノ教育専修を主席で卒業。海外研修奨学金授与。岡本賞受賞。社団法人全日本ピアノ指導者協会に本部スタッフ勤務後、ヤマハミュージックストア荒井個人講師を経て、現在Pスタジオ音楽教室講師他、各地で出張レッスン、伴奏を中心に活動。これまでに、ピアノを芝治子、江崎光世、近藤伸子、小田野慶子の各氏に師事。声楽を清水和子氏に師事。カナダモントリオールミュージックキャンプにてPatrice Lare、Victoria Kasutoより、公開レッスンにてK. シルデ、K. ヘルヴィッヒ、トゥーシャ、E、イリーナ・イワノワの各氏よりレッスンを受ける。